

笛吹市環境基本計画

平成 24 年度取り組み進捗状況について

■笛吹市環境基本計画とは

笛吹市環境基本計画は、笛吹市の素晴らしい自然を次世代へと受け継ぎ、幅広い環境問題に対応していくため、市民、事業者、行政などすべての主体が連携し、総合的かつ計画的に取り組むを進めていくための具体的な目標や期間を定めたもので、平成 23 年 4 月に策定されました。

計画期間は平成 23 年度から 32 年度までの 10 年間で、笛吹市が目指す環境像「清流と緑の大地 桃源郷 未来につなぐ 笛吹市」の実現を目指しています。

■平成 24 年度取り組み進捗状況について

環境像実現のために環境目標と施策が定められており、取り組み進捗状況を毎年度公表することとなっています。進捗状況の点検・評価については、定量的な指標として設定されている「環境指標」の「基準値（計画策定時の現状値）」と「平成 24 年度の現状値」を比較して行いました。

平成 24 年度取り組み進捗状況については別表のとおりです。

【別表の見方】

①環境指標の種類

- 成果指標・・・目標への到達度
- 取り組み指標・・・目標達成に向けた取り組みの進捗状況
- △モニタリング指標・・・経年変化を把握するための指標（目標設定なし）

②進捗状況の見方

- ・・・基準値より現状値が上がった・目標に近づいた指標
- ▲・・・基準値より現状値が下がった指標
- ・・・基準値維持の指標
- 空欄・・・現状値がない指標

③コメント欄

主な環境指標について、担当課のコメントを記載しています。

全体の結果は下記のとおりで、現状値が上がった・目標に近づいた指標は全体の 37%でした。

- （現状値が上がった・目標に近づいた指標）・・・58 項目
- ▲（現状値が下がった指標）・・・51 項目
- （基準値維持の指標）・・・36 項目
- 空欄（現状値なしの指標）・・・12 項目

■今後の取り組みについて

平成 24 年度は環境基本計画の取り組み 2 年目となりました。現状値が上がった・目標に近づいた環境指標は 157 項目中 58 項目（37%）で、平成 23 年度実績の 59 項目（38%）を下回りました。

環境市民委員会・環境審議会に進捗状況について報告したところ、下記のような意見や情報が寄せられました。

- ・ごみ出しのモラル・マナーを改善していく方法として住民に収集作業へ立ち会ってもらうなど
- ・県外自治体イベントにおける見本となるようなごみの持ち帰りの取り組みを紹介
- ・ごみ分別の工夫や暮らしのアイデア等を募集したり、イベントで紹介するなどして、情報交換を行っていくなど
- ・動物保護も重視しながら環境への取り組みを続けてほしい
- ・環境への取り組みには市民を巻き込んでいくことが大切

いただいたご意見を参考にさせていただきながら、中間目標の達成を目指して今後も取り組みを進めていきます。

笛吹市環境基本計画 平成24年度取り組み進捗状況

- ：成果指標 目標への到達度を表す指標
- ：取り組み指標 目標達成に向けた取り組みの進捗状況を表す指標
- △：モニタリング指標 継続的に数値をモニタリングし、状況の経年変化を把握する指標

進捗状況の見方(基準値と現状値の比較)
 ○ 数値が上がった
 △ 数値が下がった
 — 基準値維持
 空白 H24数値なし

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	現状(H24)	中間目標(H27)	進捗状況	備考	コメント	
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-1 農地・果樹園	「農地や土との親しみやすさ」に満足している市民の割合	● %	59.1	—	65	▲	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	農用地面積については、農振除外申請を適正に行っている。エコファーマー認定については、メリットも含めて制度を周知し、認定者の増加に努めている。	
		農用地面積	● ha	3,587	3,545	3,587	▲			
		耕作放棄地の面積	● ha	171	169	140	○			
		農地パトロール実施回数	○ 回	1	1	2	→			
		新しく耕作を始めた人数、耕作希望者数	○ 人	38	39	40	○			
		学校給食において地元農産物を使用する割合	○ %	12	13	15	○			
		バイオマス資源としての果樹剪定枝等の回収量	○ t	—	—	851			バイオマスセンター建設事業検討中	
		農業体験・交流イベント開催数	△ 回	2	2	—	→			
		“ ” 参加者数	△ 人	100	110	—	○			
		農業学習会、セミナーの開催回数	△ 回	20	26	—	○			
		“ ” 参加者数	△ 人	600	602	—	○			
		市民農園の面積	△ m ²	9,412	9,412	—	→			
		エコファーマー認定者数	△ 人	1,873	1,762	—	▲			
		認定農業者数	△ 人	526	550	—	○			
	1-2 森林	「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	● %	77.3	—	85	▲	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	林野面積や長有林面積に関しては、適正な林地管理に努めている。	
		林野面積	● ha	11,836	11,819	11,836	▲			
		林業体験の実施学校数	○ 校	9	0	10	▲			
		“ ” 参加生徒数	○ 人	255	0	300	▲			
		森林体験の実施回数	△ 回	3	1	—	▲			
		“ ” 参加者数	△ 人	200	150	—	▲			
		森林施策計画認定面積	△ ha	1,945.69	1,961.98	—	○			
		森林保全整備事業実施面積(累計)	△ ha	323	323	—	→			
		間伐面積(累計)	△ ha	233.61	280.58	—	○			
		植樹面積(累計)	△ ha	57.22	67.23	—	○			
		林野面積のうち民有林面積	△ ha	7,380.92	7,035.85	—	▲			
		保安林面積(水源かん養保安林)	△ ha	5,942.18	6,189.00	—	○			
		1-3 河川・水辺	「水や水辺との親しみやすさ」に満足している市民の割合	● %	40.2	—	45	▲	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	各種団体からボランティア収集等の申し込みがあった場合、アダプトプログラムへの登録を勧めたい。
			多自然工法を導入した事業件数	○ 件	2	1	1	▲		
	アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備)		○ 団体	3	3	5	→			
	“ ” 登録人数		○ 人	77	56	97	▲			
	河川の清掃活動実施回数		△ 回	2	4	—	○	土木課で行った河川清掃活動の回数		
	“ ” 参加人数		△ 人	200	734	—	○			
	1-4 動植物・生態系	特定外来種に関する広報回数	○ 回	0	0	1	→		野生動物による農作物被害などの被害等の被害への対応策として、野生動物と人間の活動エリアを区分する方策の検討が必要。	
		鳥獣保護区の指定数	△ 箇所	2	2	—	→			
		“ ” 面積	△ ha	15.49	15.49	—	→			
		自然環境保全地域の指定数	△ 箇所	4	4	—	→			
		“ ” 面積	△ ha	30.63	30.63	—	→			
		動植物に関する天然記念物の件数(県)	△ 件	8	7	—	▲	境川町のヤツクサウメ指定解除(枯れたため)		
“ ” (市)		△ 件	35	35	—	→				
けがや病気の野生動物の保護件数		△ 件	6	7	—	▲				
野生動物の被害等による被害件数(苦情件数)		△ 件	27	35	—	▲				
農作物被害防止に向けた有害鳥獣駆除実施回数		△ 回	27	35	—	▲				
“ ” 駆除数		△ 頭	627	875	—	▲				
1-5 自然とのふれあい	観察・発見された特定外来種の個体数	△ 頭	2	4	—	▲				
	「生き物とのふれあいやすさ」に満足している市民の割合	● %	45.6	—	50	▲	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	特になし		
	自然観察会等のイベント開催数	○ 回	0	0	1	→				

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	現状(H24)	中間目標(H27)	進捗状況	備考	コメント
健康で安心できるまち	2-1 大気環境	「空気のきれいさ(車の排気ガス、悪臭等)」に満足している市民の割合	● %	58.1	—	63	▲	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	廃プラスチック等の回収や処理について、分別指導を徹底していきたい。また、地区主導の説明会開催のみならず、イベント等の説明機会を積極的に見つけていきたい。
		廃プラスチック等の回収量	○ t	271	266	275	▲		
		廃プラスチック等の適正処理周知、指導回数	○ 回	86	43	90	▲		
		大気汚染に係る測定結果(NOx年平均値)	△ ppm	0.022	0.012	—	○		
		“ ” (SPM年平均値)	△ mg/m ³	0.013	0.018	—	▲		
		畜産農家に対する悪臭の指導回数	△ 回	1	1	—	→		
		工場・事務所における悪臭の指導回数	△ 回	3	2	—	○		
		「野焼き」に関する苦情件数	△ 件	63	52	—	○		
		「悪臭」に関する苦情件数	△ 件	35	22	—	○		
		2-2 水・土壌環境	「水のきれいさ(河川・水路や池沼等)」に満足している市民の割合	● %	34.2	—	42	▲	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし
	管吹川のBOD平均値(直近3カ年)		● mg/l	1.03	1.3	1	▲		
	水質基準達成項目比率		● %	84	73.3	88	▲		
	地下水に係る環境基準の達成地点の割合(井戸水)		● %	85.4	92.8	90	○		
	生活排水処理率		○ %	70.5	71.5	76.4	○		
	公共下水道処理人口		○ 人	41,440	42,311	44,440	○		
	公共下水道処理人口普及率		○ %	58	58.8	65	○		
	合併浄化槽設置人口		○ 人	7,831	8,690	9,931	○		
	農業集落排水処理人口		○ 人	515	443	510	○		
	生活道路・水路の整備に関する市民満足度		△ %	55.7	47.1	—	▲		
	2-3 廃棄物	「日常生活から発生する、ごみの処理のきれいさ」に満足している市民の割合	● %	51.4	—	53	▲	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	生活系可燃ごみを減らすため、生ごみ削減、特に水切りについて啓発していきたい。
1人1日当たりのごみ排出量(生活系ごみ)		● g/人・日	667.5	669.7	600	▲		リサイクル率・分別収集量・資源物回収量を増やすため、説明会やキャンペーンを通して適切な分別排出を指導していく。	
“ ” (事業系ごみ)		● g/人・日	315.7	287.2	300	○		また、生ごみ処理機購入助成については、積極的な情報発信と、生ごみ削減についての啓発を行っている。	
ごみ総排出量		● t	25,849	25,052	25,000	○			
生活系可燃ごみの減量率(対基準年度H16年度)		● %	29	28	53	▲			
リサイクル率		● %	21	20	25	▲			
容器包装廃棄物分別収集量		● t	271	266	275	▲			
古紙分別収集量(新聞・雑誌・ダンボール・ミックス紙)		● t	2,912	2,079	2,950	▲			
資源物の混入量(可燃)		● t	7,755	6,868	7,700	○			
“ ” (不燃)		● t	1,290	745	1,200	○			
健康で安心できるまち	「買い物の際のレジ袋利用抑制」にいつも取り組んでいる市民の割合	○ %	85	84	88	▲			
	資源物回収奨励金登録団体数	○ 団体	132	132	135	→			
	資源物回収奨励金登録団体の資源物回収量	○ kg	3,076.639	2,687.217	3,138.172	▲			
	生ごみ処理機購入助成件数	○ 件	196	103	200	▲			
	一般廃棄物許可業者説明会開催数	○ 回	0	0	3	→			
	廃食用油回収量(市で回収したもの)	○ l	12,255	16,679.4	12,700	○			
	廃食用油からの年間バイオディーゼルの精製量	○ l	9,300	12,000	11,400	○			
	ごみ減量化・資源化の意識啓発イベント開催回数	○ 回	86	43	90	▲			
	廃棄物処理施設・現場見学会開催回数	○ 回	0	0	1	→			
	“ ” 参加人数	○ 人	0	0	20	→			
2-4 身近な生活環境	「まちの静けさ(騒音や振動)」に満足している市民の割合	● %	60.5	—	67	▲	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	騒音の苦情件数が増えているので、苦情があれば迅速に現場確認・指導を行うなど適切に対応したい。	
	騒音測定における環境基準の達成地点の割合	● %	92.3	98.1	96	○			
	「騒音・振動」に関する苦情件数	△ 件	14	25	—	▲			
	工場や深夜営業店舗等に対する指導回数	△ 回/年	5	1	—	○			

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	現状 (H24)	中間目標 (H27)	進捗状況	備考	コメント	
快適で緑のあるまち	3-1 公園・緑地	市民一人当たりの緑地面積	● m ²	8.6	8.6	8.85	→		学校校庭の芝生化については、学校側と協議する中で順次進めていきたい。	
		公園・緑地数	● 箇所	19	19	20	→			
		都市公園数	● 箇所	6	6	7	→		各学校で緑のカーテンを実施している。	
		校庭芝生化に取り組む学校数	○ 校	0	0	10	→		また、市役所では節電対策として、緑のカーテン設置に全庁的に取り組んでいる。	
		公共施設における緑のカーテン実施数	○ 箇所	3	41	22	○			
		身近に自然とふれあうことができると感じている市民の割合	△ %	70.7	73.4	—	○			
		公園を利用している市民の割合(H22～)	△ %	35.9	39.1	—	○			
		都市公園面積	△ ha	37.25	37.25	—	→			
	3-2 歴史・文化的環境	市の文化遺産や地域の文化に触れたことがある市民の割合	● %	43.9	55	44	○		指定文化財については、開府300年を機に3棟が市指定文化財になった。	
		文化財を活用したイベントの開催数	○ 回	3	8	3	○			
		参加者数	○ 人	230	232	280	○			
		文化施設(郷土館等)を活用した企画展・特別展・イベント参加者数	○ 人	7,635	7,700	5,200	○			
開催数		△ 回	8	8	—	→				
伝統芸能継承団体数		△ 団体	11	11	—	→				
登録文化財数		△ 件	3	4	—	○				
指定文化財数		△ 件	218	215	—	▲				
3-3 郷土景観	「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	● %	77.3	—	85	—	→	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	特になし	
	電線類地中化の整備延長	△ m	2,779.3	2,779.3	—	→				
	3-4 まち美化、暮らしのマナーモラル	「まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱など)」に満足している市民の割合	● %	40.7	—	45	—	→	H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	アダプトプログラム登録団体数や人数を増やすため、団体からボランティア収集等の申し込みがあった場合、アダプトプログラムへの登録を進めたり、登録団体への補助等を充実していきたい。
		公害や不法投棄がなく衛生的に生活できると答えた市民の割合	● %	49.3	49.4	55	○			
		アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備含む)	○ 団体	19	14	20	▲			
		登録人数	○ 人	581	398	700	▲			
		清掃活動の参加者数	○ 人	1,830	1,840	2,000	○			
		意識啓発イベントの開催回数	○ 回	86	43	90	▲			
参加者数		○ 人	2,650	1,390	2,700	▲				
花の苗配布団体数		○ 団体	61	65	85	○			雑草繁茂の苦情件数が増加しているため、引き続き広報紙等で土地所有者に適切な管理を呼びかけたり、指導を行っている。	
地球環境の保全に貢献するまち	4-1 地球温暖化	市営バスの利用者数	● 人	28,668	27,051	30,101	▲		市営バスについては、声川・境川バス利用者数が減少している状況の検証と、利用促進の強化を行っている。また、デマンド交通の運行方法の改善により、さらに利用促進を図りたい。	
		住宅用太陽光発電システム補助金交付件数(累計)	○ 件	253	1,248	553	○			
		環境家計簿提出件数	○ 件	47	23	52	▲			
		LED照明導入小中学校数	○ 校	0	0	10	→			
		デマンド交通の利用者数	○ 人	3,600	5,058	8,940	○			
		公用車へのエコカーの導入台数	○ 台	42	71	67	○			
		環境学習の一環として簡易測定を実施している小中学校数	○ 校	6	7	10	○			
		幹線道路網が整備され移動しやすいまちだと感じている市民の割合	△ %	54.3	44.3	—	▲			
		鉄道やバスが利用しやすいまちだと感じている市民の割合	△ %	19.9	12.5	—	▲			
		JR石和温泉駅1日当り乗・降者数	△ 人	5,338	5,132	—	▲			
		一宮・御坂インターチェンジ1日当り乗・降台数	△ 台	8,300	8,490	—	○			
		地球温暖化対策に関わるキャンペーン実施回数	△ 回	1	1	—	→			

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	現状 (H24)	中間目標 (H27)	進捗状況	備考	コメント	
自ら動き環境保全に取り組むまちづくり	5-1 環境教育・環境学習	「学校や地域社会における環境教育の質・量」に満足している市民の割合	● %	43.4	—	46	—		H27にアンケート実施予定のためH24数値なし	みどりの少年少女隊は平成25年度に1団体加入の予定あり。
		みどりの少年少女隊組織数	● 団体	9	8	10	▲			学校での移動環境教室やエコキャンドル作りを積極的に開催している。好評いただいた学校から再度開催要望もいただいているので、できるだけ多くの環境教育の機会を提供していきたい。
		環境学習イベント開催数(子ども環境教室、環境ボスター展)	○ 回	2	6	4	○			
		やまなエコーチャーターによる出前講座開催小中学校数(累計)	○ 校	2	3	10	○			
		環境年次報告書の公表回数	○ 回	0	1	1	○			
		環境関連図書数(学校)	○ 冊	3,521	3,521	3,540	→			
		“(市立)	△ 冊	2,125	2,087	—	▲			
		河川環境および林業体験実施回数	△ 回	3	1	—	▲			
	5-2 各主体による環境保全活動	「エコ活動に取り組んでいる」市民の割合	● %	82.4	77.6	85	▲			広報紙を用いて環境に関する情報を発信しているが、現状として特集はあまり組めない。平成25年度に環境標語を募集するので、それをテーマに特集ができればと思う。
		環境に関する広報特集記事数	○ 件/年	0	0	1	→			
		環境に取り組む個人・団体等の活動等を紹介した広報記事数	○ 件/年	9	13	10	○			
		環境保全に関するNPO法人数	○ 団体	2	4	7	○			
市が主催する、各主体の交流イベント開催数	△ 回	2	2	—	→					
市役所におけるグリーン購入物品数(ボールペン・シャーペン)	△ 件	100	100	100	→					
(ファイル)	△ 件	100	100	100	→					
(コピー用紙(白))	△ 件	100	100	100	→					

平成24年度は、首次環境基本計画の取り組みの2年目でした。環境指標を、①数値が上がったもの、②数値が下がったもの、③基準値維持、④事情により数値なしの4種類に区分けしたところ、下記の結果になりました。数値が上がった指標は、58項目(37%)となりました。この指標は、平成23年度に比較して1項目(1%)減少しました。

①	○	進捗状況	平成23年度		平成24年度		項目数の増減
			項目数	割合	項目数	割合	
①	○	数値が上がった	59 項目	38%	58 項目	37%	↓
②	▲	数値が下がった	43 項目	27%	51 項目	32%	↑
③	→	基準値維持	39 項目	25%	36 項目	23%	↓
④	空欄	H24数値なし	16 項目	10%	12 項目	8%	↓
			合計	157 項目	100%	157 項目	100%